

國際經濟流況週報

(可認物便郵種三第日九月十年九正大)
(行發日曜十回一週每)

205 (No. 598)

行發日八十月七年六和昭

號六十二第

卷二十第

米佛間の交渉成立す 戰債賠償豫案に對する

フランスの受諾條件

アメリカ大統領フーヴァー氏の戦債及び賠償金一ヶ年支拂猶豫案に關する米佛交渉は、パリ内務省に於いて開會せられたが、六月廿九日夜の第三次會商に於いて、フランス側が反覆説明したモラトリアル受諾の條件は左の諸點である。

が事實無條件賠償年賦金を國際決済銀行に拂込むべきことは實際に於てこの金額借款の形を以て直ちにドイツに戻るべきものであるにしても兎に角ドイツ一國のみでなく、各國の必要に對して利用せしむべきこそのフランスの主張を受諾すべきことを要求す。國際決済銀行に對するドイツの右拂込みは他の年度に於る無條件年賦金と同様になし、フレーヴィアーダ統領のモラトリアル期限が終つた際ドイツがなほヤング案に基いて再び條件付年賦金のモラトリアルを要求する場合これによる支拂ひ延期額を國際決済銀行に對する補償金として使用され得べきこそ。

フランスがこれを要求する所以は、若し斯くせざる場合はドイツのモラトリウム要求が容れられた場合、フランスは國際決済銀行に對して特に約一億二千五百萬ドルの補償責任を負はざるべきからである。なるからである。

フランスはフーヴィアーア案により支拂ひを延期さるべき條件付賠償年賦金を今後五ヶ年間の條件付支拂ひに分割加算して支拂はしむべきことを希望する。(アメリカ側ではその支拂ひを二十五ヶ年間に割當つべきことを主張してゐる)

右の内米佛間で問題となつたのは國際決済銀行を通じてドイツに再融資されるべきドイツの無條件賠償年賦金の償還期限に就てである。併し第四回の會

談の結果はフランス側が右問題の五ヶ年説を反省して十年若しくはそれ以上

を出し、本問題の善後處置についてイギリス、フランス兩國政府間に話題に頗る有望に展開して來たので茲にアメリカ、フランス交渉の三大難點は何かも満足なる解決に近付く事となつた。

すれば現在の世界經濟界困難は大いに改善されるであらう。この案の成否が米佛交渉の成行に懸る處が多いが、この交渉が成立すれば目下の諸市場の暴騰歩調は持続されるであらう。

國別索引	每號連載
事項省略	
十八億圓の赤字を現出………	一〇〇
(ニューヨーク六月中の—— 株式及債券取引出来高)……………	一〇一
南米に財政的援助を行はん………	一〇二
六月中の生糸統計……………	一一一

モラトリアム案と經濟界の前途

フードニア景氣は
果して續く

ニユーヨーク
六月廿九日(月)

が結局どこへ落着くか、其條件ある。

若し全部實行さるゝしても政府は畢竟切つた節約勵行の方針を廢止するこゝはあるまい。

印度公債大成績

英、獨、佛財界人の意見

ロンドン

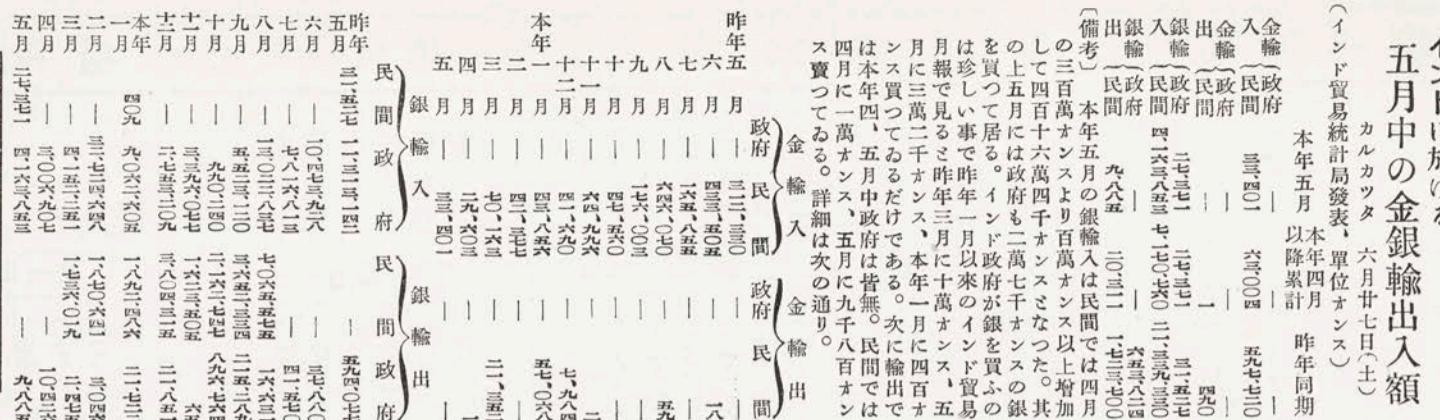
リス
デア一毛の是そば過去敵ア用

社告社

新聞聯合社

國際經濟週報本年度上半年期分（第一號—廿六號）の總索引が出来ましたから本號附錄として添附致します。

日本一六月十五日現在生活費指數……二
國祭
（戰債賠償猶豫案に對する）
る米佛間の『通商成立す』……二



インドに於ける 五月中の金銀輸出入額

(インド貿易統計局發表、單位オンス)

△鋼鐵 季節的關係で鈍狀であるが、モラトリアム案の結果良好が期待されるの、非鐵金屬の馳りを移して氣配良好である。

△銅 閑散。底意は稍引弛み。

△銅急騰後區々。六月の精銅統計は更に在荷増を示すもの、當業者は觀てゐる。一方產銅業者が減產擴大案について意見の一一致を見るに至らなかつた事は不安材料である。

△錫 ロンドン及び極東に連れて反落した。

△鉛 手堅い。七、八月物の需要多く一方製煉業者は賣り焦らない。

△亞鉛 駆り、これは需要が引續き多いめである。

△安質母尼 支那側の値上要求で騰貴した。

ニューヨーク金物相場

六月廿九日(月) (ヒットバーケ渡)

△銅鐵 第二號物用(一トン)

△スチール・バー(ベスマ、百封度)

△タンク・ブレート(廿四番同)

△アラックシート(トーン、粗度)

△亞鉛引シート(同、同)

△鉛力(ボックス、一箱)

△アメニ(一口一車粗度)

△亞鉛(エスター、半車粗度)

△安質母尼(半車粗度)

△電氣銅相場(第四頁に掲載)

△銅鐵 クリーヴランド消費者側は值下けを豫想して註文を見送りの態である。

△銅鐵 輸出は不振乍ら國內は引合相當あり、先行好轉を期待されてゐる。

△銅 銀出向照會は增加したが實商内は未だ乏しく値段下押し乍ら健實こ見られてゐる。

△銅 カタンガ銅礦の不參加で限產擴張交渉は立消への模様である。然し乍ら本年度に於る世界生產額は相當の減少を豫想せられる。

△銅 特に神經過敏を極めた。

△錫 市場はモラトリアム米佛交渉に關する報道が區々なにつれて非常に動いた。

△銅 鉛賣り手が賣り焦らうこしない爲め底意は大體に於て手堅く保合つてゐた。

△錫 特に神經過敏を極めた。

△銅 形勢は餘り變らないが、戰債モラトリアム提案で氣配は良くなつた。而して大陸の相場が馳りして來たので、買ひ手は從來手控えてゐた註文を出すやうになつた。

△錫 鉛賣り手が賣り焦らうこしない爲め底意は大體に於て手堅く保合つてゐた。

△銅 特に神經過敏を極めた。

△錫 市況駆り。この一因はヨーロ

ン(ロンドン)六月廿九日(月)の報告が區々なにつれて非常に動いた。

△銅 鉛賣り手が賣り焦らうこしない爲め底意は大體に於て手堅く保合つてゐた。

△錫 特に神經過敏を極めた。

△銅 市況駆り。この一因はヨーロ

ン(ロンドン)六月廿九日(月)の報告が區々なにつれて非常に動いた。

△銅 特に神經過敏を極めた。

△錫 市況駆り。この一因はヨーロ

ン(ロンドン)六月廿九日(月)の報告が區々なにつれて非常に動いた。

△銅 特に神經過敏を極めた。

(昭和六年六月廿八日—七月四日發信)

金物相場

クーヨーユニ

正銀行建值

(一圓)	ロンドン	上海百
志 片	ニューヨーク	ボンベイ
二・〇〇・一六分五	(百圓)	(百圓)
二・〇〇・一六分五	パリ	パリ
二・〇〇・一六分五	（百圓）	（百圓）
二・〇〇・一六分五	留比	留比
二・〇〇・一六分五	（百圓）	（百圓）
二・〇〇・一六分五	（參着賣	（參着賣
二・〇〇・一六分五	兩	兩
四九八分三	四九八分三	四九八分三
四九八分三	三・五	三・五
四九八分三	法	法
四九八分三	零	零
四九八分三	三七	三七
四九八分三	三七	三七
四九八分三	一七	一七
四九八分三	毛	毛
四九八分三	三毛	三毛
四九八分三	一毛	一毛
四九八分三	一毛	一毛
四九八分三	五	五
四九八分三	五	五
四九八分三	一七	一七

場相替爲國外

卷之三

場相債社公

坦相坤銀全

場相式株

八五

吾	三	各	合	合	各	限
八	一	四				當限
八	一	四				大株
八	一	四	六	九	九	先限
八	一	四	六	九	九	當限
七	一	四	七	一	〇	大株
七	一	四	七	一	〇	新限
七	一	四	七	一	〇	當限
七	一	四	七	一	〇	大株
七	一	四	七	一	〇	先限
一	一	一	一	一	一	當限
一	一	一	一	一	一	郵船
一	一	一	一	一	一	當限
一	一	一	一	一	一	先限
<hr/>						
利						
クーヨーユニ						
休	一	二	一	二	一	步
	分	分	分	分	分	マネー
	一	一	一	一	一	コール
	一	一	一	一	一	一流銀行引受手形割引率
	一	一	一	一	一	三旨
	一	一	一	一	一	六旨
	一	一	一	一	一	九旨
<hr/>						
ンドンロ						
一	八	分	二	世	步	三ヶ月
一	六	分	一	士	分	割引率
一	六	分	一	士	分	手形
一	六	分	一	士	分	引率
一	六	分	一	士	分	三ヶ月

(棉花綿糸布欄は第三頁より續く)

インドに於ける

(インド貿易統計局發表)

本年五月中のインドに於ける綿布輸入高は總計五千三百六十六萬六千ヤードで左の通り。(單位千ヤード)

△未開生地綿布

△晒綿布

△色、捺染及染綿布

△内イギリス

△日

△色、捺染及染綿布

△内イギリス

△イタリイ

△本

△備考

△未開生地

△晒綿布

△内イギリス

△イタリイ

△本</

(可認物便郵種三第)

經濟（前頁よ／り續く）

△支那 羊毛未曾有の増産……………一九五〇

- | | |
|---------------------|-----|
| 支那の経済市況 | 一九五 |
| 新輸入税は貿易上大打撃 | 一三 |
| アメリカ對支銀借款問題 | 二三 |
| 國民政府發布綿糸布等の統一稅條令 | 三四 |
| 三新紡績の身買り | 三四 |
| 青島富士紡織工の怠業 | 四五 |
| 實施された統一稅の打撃甚大 | 三五 |
| 青島富士紡織業問題解決 | 五六 |
| 銀十億オランス借款問題 | 七五 |
| 北滿の黃金熱 | 八五 |
| 國民政府大製鋼所設立を計畫 | 八七 |
| 上海綿糸對日輸出旺盛 | 九六 |
| 支那の各鐵道外國 | 九四 |
| 品差別待遇を廢止 | 九四 |
| 滿洲の防禦令撤廢 | 一〇五 |
| 中國申新紡對日輸出 | 一八六 |
| 赤松より重油を製造 | 一九九 |
| 上海市當局小麥の輸入禁止 | 二五 |
| リーマー教授支那の經濟界を研究 | 二三 |
| 國際銀會議の準備 | 二五 |
| 上海で生糸特別輸出稅の附加 | 二六 |
| 招商局總辨の更迭 | 二六 |
| 國民政府滿鐵との協定を破棄か | 二七 |
| 上海で又新課稅 | 二七 |
| 上海製糸工場の閉鎖續出 | 二七 |
| 全上海糸廠一齊に休業 | 二八 |
| 露領向穀物輸出の中止 | 二八 |
| 支那、キュー-バ製糖契約内容 | 二九 |
| カナダの綿糸關稅引上 | 三四 |
| 南洋の日本商品評價價格引上 | 四五 |
| キュー-バに近く砂糖減產令の發布を見ん | 三五 |
| スイスの綿製品關稅引上 | 七四 |
| チリー、織物綿糸の無稅を延期 | 九四 |
| 南阿に大金鎖發見 | 九四 |
| ノールウェー産業界 | 一〇 |
| の大ロツクアウト | |

市
況

金融市況

ドイツ公使
勞農滿耶

の低落
（手計画）

ベル-國貨幣平價の
支那で金準備の紙幣

切下
三七

△其
他

- △其 他
ドイツ二大
ドイツ國有
ベルリン株
大連取引所
英佛金融協
ロンドン金
イギリスの
ドイツ染料
ランド
フランスの
アメリカ昨
ロンドンの
商會ブライ
メキシコの
メキシコに
フランスの
ク銀行破産
英佛金融商
マニサ借款
アメリカ資
アーリカ第
ビンチヨン
國際的貿易
國際決済銀
支那廣東東
浦潮鮮銀支
國際決済銀
アーリカの
オーストリー
レヂットを巡
シカゴの小
ドイツ中央
ヨーロッパ
フランスが
ツの金融を
埠地利の企
オランダ銀の
ステル銀行
ニユーヨーク
對獨クレヂ
イギリス造
ロンドンで
ド公債の發
中國國債救
債發行近々
潦洲の公債

トラストの配當……三
信託會社の減資……一五

ドイツ公債

底落

ヘル国貨幣平價の
支那で金準備の紙幣

切下
三七

四
中華民國短期券八千萬元發行
國民政府鑄造

社債發行
一
下借替案
府長期公債の發行
二

支那で金準備の紙幣

切下
三七

銀塊市

- | | | | |
|------------------|--------|------------------|-------|
| 期庫發行 | 六八 | ハルビン大洋票の暴落 | 三九 |
| 業救濟公債を發行 | 六六 | ルーピー爲替比率問題 | 四六、一〇 |
| 社債發行 | 九四 | 支那爲替の暴落 | 四七 |
| 下付替案 | 五四 | スペインのペセタ貨安定 | 七二 |
| 府長期公債の發行 | 一五五 | イス金本位制復歸 | 六六 |
| 十萬元の公債發行 | 一五七 | 支那爲替の先安氣配 | 二〇 |
| の低落 | 一五八 | ベル一國貨幣平價の切下 | 三七 |
| ゲ年計畫 | 一五九 | 支那で金準備の紙幣發行 | 三七、一五 |
| 豪電社債の賣出 | 一六〇 | スペイン政府の通貨大膨脹政策 | 一五 |
| 支那爲替の先安氣配 | 一六一 | ボルトガルの通貨安定 | 一五 |
| 支那爲替の暴落 | 一六二 | 廣東銀行紙幣の崩落 | 八三 |
| ス準銀の利下 | 二、一四 | △金銀輸出入 | |
| シス | 二、一五 | 米佛金流出を圖らん | 三 |
| ト | 二、一四 | ロシアよりドイツへ金現送 | 一四 |
| の利下 | 二、一四 | 國際銀行金移動 | 三 |
| 銀銀の利下 | 二 | 問題調査に着手 | 一三 |
| 銀行の利下 | 三 | 昨年中に米佛に集つた金の額 | 一九 |
| 銀行利上 | 四 | 上海正金銀行支店 | 六三 |
| 銀行の利下 | 三 | 銀を日本へ積出す | 一九 |
| 國立銀行の利下 | 三、一五 | 支那よりアメリカへ金現送 | 六一、八三 |
| 國立銀行の利下 | 三、一五 | インド銀行ロンドンへ銀を積出す | 一六 |
| 國立銀行の利下 | 三、一五 | 上海正金銀行支店 | 六三 |
| 銀行の利下 | 三 | 銀を日本へ積出す | 一九 |
| ノイヤ準銀の利下 | 一四 | 支那よりアメリカへ金現送 | 六一、八三 |
| 銀行の利下 | 一四 | フランスよりアメリカへ金現送 | 二七 |
| ク聯邦 | 一四 | ロシアよりドイツへ金塊積出 | 二七、一六 |
| 利下 | 一四 | フランスの金塊積出 | 一五 |
| シード準銀の利下 | 一四 | メキシコ、アメリカより金貨の輸入 | 一五 |
| ド準銀の利下 | 一四 | ドイツの金準備激減 | 一五、一九 |
| ト準銀の利下 | 一五 | | |
| ト銀行の利下 | 一五 | | |
| シード準銀の利下 | 一五 | | |
| 銀行利下 | 一六 | | |
| シード準銀の利上 | 一七五、一九 | | |
| 銀行の利上 | 一八三 | | |
| 銀行の利上 | 一九一 | | |
| 國立銀行の利上 | 一九二 | | |
| 銀行の利上 | 一九三 | | |
| 銀塊の續落 | 一九四 | | |
| 景氣回復は銀塊を昂騰 | 一九四 | | |
| 昨年の銀の推移 | 一九三 | | |
| ニューヨーク銀塊の騰貴 | 一九三 | | |
| メキシコの大銀山閉鎖 | 一九三 | | |
| 國際銀會議はメキシコで開催か | 一九三 | | |
| ニユーヨークで銀の定期取引を計畫 | 一九三 | | |
| メキシコ銀山作業再開 | 一九三 | | |
| 銀塊本年の高値と額合せ | 一九三 | | |
| シャムの銀貨拂下問題 | 一九三 | | |
| 印度政府の銀賣出說 | 一九三 | | |
| 支那の銀在荷は必 | 一九三 | | |
| ずしも多くはない | 一九三 | | |

